

令和元年度第1回 名張市地域公共交通会議事業推進部会
令和元年度第2回 名張市地域公共交通連携協議会 合同会議 議事概要

日時 令和元年10月28日(月)

午後2時30分より

場所 名張市防災センター 防災研修室3

出席者：(敬称略)

(1) 名張市地域公共交通会議事業推進部会 委員

中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校 准教授)

豊永 育子 (公益社団法人 三重県バス協会)

池田 守 (名張市地域公共交通会議 委員)

石川 裕三 (名張市地域公共交通会議 委員)

澤田 恭子 (名張市地域公共交通会議 委員)

津田 末子 (名張市老人クラブ連合会 女性部 副部長)

細川 智之 (名張市保育所(園)認定こども園保護者会連絡協議会 会長)

勝木 祥文 (名張商工会議所 総合商業部会長)

田中 明子 (名張市地域環境部 部長)

(2) 名張市地域公共交通連携協議会 委員

室谷 芳彦 (美旗地域コミュニティバス運営審議会 会長)

福本 房生 (ほっとバス錦運営協議会 会長)

村山 勝司 (薦原コミュニティバス運営委員会)

荻田 吉春 (代理出席、緑が丘コミュニティバス運営協議会)

谷口 清二 (国津コミュニティバスあららぎ号運行協議会)

作田 久 (代理出席、三重交通株式会社伊賀営業所)

川瀬 和也 (株式会社メイハン 常務取締役)

谷本 浩司 (名張市都市整備部 部長)

(3) 名張市地域公共交通連携協議会 オブザーバー

中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校 准教授)

鈴木 博行 (中部運輸局三重運輸支局主席運輸企画専門官)

伊藤 成美 (中部運輸局三重運輸支局運輸企画専門官)

滝川 晋 (ほっとバス錦運営審議会)

福田 富彦 (薦原コミュニティバス運営委員会)

(4) 事務局

都市整備部都市計画室4名

1. 開会

2. 議事

(1) 乗継割引の検討について

(事務局より資料をもとに説明)

部会長 只今ご説明がありましたように、乗継割引についていろんなパターンが考えられるかと思いますが、何かご意見ご質問ありましたらお願いいたします。ちなみに三重交通さんのICカードを使った時の割引はできるのでしょうか。

委員 免許返納制度は、運転経歴証明書を提示すると運賃が半額になり、付添の方も1名半額になります。現在他の割引との併用はしておりません。私どものICカードのエミカですが、現在は現金を上回る使用率となっております。ICカードの引き落としですが、乗り降りの際にカードをタッチしてもらい、それぞれの認証がありデータのプログラムがあり料金はいくらかというのをあらかじめコンピュータの中で処理をしています。これから金額を引くとなるとすべてのデータが崩れ去ってしまうので、プログラムには適用されません。自社のカードと交通系のカードが10社あるのですが、そちらについてもできません。また、エミカはポイントが付くのですが、乗った区間がわからないと加算されないようになっているので、今の交通形態、私ども以外の10社のカードにつきましてもこのプログラムが適用されませんので、非常に無理なところがあります。乗継券を手渡しでということですが、ダイヤの組み方で乗り降り以上に時間を費やしてしまうとダイヤの乱れもごさいますので、今後は利用率も加味しながら労働条件など組合と話をしたうえで考えていきたいと思えます。以上が簡単ですが三重交通からの意見でございます。

部会長 ICカードが厳しいというのは僕も思っていたことなので、プログラムの関係があると思えますので、予算がたくさんあれば書き換えてもらうことも可能かと思えますが、かなりの予算がかかるということは存じ上げておりますので、ちょっと厳しいのかなと思っております。できれば実際にやるのでしたら手渡しでの実施を前向きにご検討いただきたいと思います。その次第です。その他ございますか。

委員 事務局にお尋ねしますが、割引額の負担はどのようにお考えですか。

事務局 割り引いた額の負担は基本的に市で全額負担することを想定しています。

部会長 ちなみに皆さん割引額の100円というのはよろしいでしょうか。いろんな考えがあると思いますが、料金、額、配布場所、配布の形態が議論的かなと思えますが、まずは割引額について何かございせんか。

委員 利用する側からすると安くなるに越したことはないと思えますが、仮に割引額を100円として三重交通とナッキー号との乗継をした場合、乗客が増えることはいいのですがその場合ナッキー号の収入は0ということになると思えます。他のコミュニティバスからしても収入が減になるのではないかと思います。コミュニティバスの目的ができるだけ数多くの利用してもらうことならそれでいいかと思えますが、やはり運賃収入を減らさないという工夫も必要かなと思えます。

事務局 今事務局としての考え方としては、なぜ割引額が100円かと言いますと、どこかのバスからナッキー号に乗り継いでもらうことによって、ナッキー号の1乗車分が無料に、その分の負担が無くなるということを考えております。なぜかという、ナッキー号は他のバスとは性格が異なっており、三重交通と地域のコミュニティバスは各地域と駅を結んで運行していただいております。駅まで来ていただきましたら、ナッキー号に乗って市内を広く移動してもらって公共施設であったり商業施設など自身の目的に合ったところへ行っていただくと。

乗継という行為はやむを得ないところではありますが、そういった乗継をするにあたって費用的な負担が軽減できればということでもナッキー号の運賃相当額の100円を割り引くことができればいいのではないかとこのところでは、最終的には市が負担するというのを基本的に考えておりますので、各コミュニティバスの収入減にはならないかたちで考えています。

部会長 使うのは皆さんの税金ですので、原資がどこにあるということもあると思いますけれども、
委員 県下の事例を見せていただいて、鉄道とのジョイントが1番に書いてありますが、名張の場合は念頭にないということでしょうか。

事務局 鉄道との乗継割引を実施されているのが伊勢市の市内環状バスで、これについては現在社会実験運行中でいろいろなお試しをしている中での運行でもあり、割引についても路線バス、コミュニティバスと市内環状バスで実施しているものと合わせて鉄道と市内環状バスもしていただいておりますが、本格運行の際には、見直される可能性があると考えております。ナッキー号との乗継につきましても、乗継券の受け渡しの方法等についてもなかなか難しく、近鉄さんの駅構内での設置も厳しい面もありますし、バスから鉄道に乗り継ぐ場合の方法もさらにハードルが高い状況です。乗継割引は基本的に市内での移動を想定したいと思っておりますので、まずはバス同士で乗継割引をと考えております。

委員 利便性を考えると非常にいいシステムかと考えられます。ただ、2回目以降の乗継で1回目のバスで券をもらい2回目のバスで前の乗継券と100円を入れて次の乗継券をもらってもいいという考え方ですね。各コミュニティバスにできるだけ負担がかからないようお願いしたいと思っております。後から出てきますが地域づくり組織のゆめづくり交付金の中から2,30万円というお金が出されています。交付金というのは目的の制限はそんなにありません。しかし、ゆめづくり交付金の算出額は地域の人口割が基本になっています。もちろん総会で決議を取っているとは思いますが、その人たちに行くケアがそれだけ分減っているのではないかと以前から危惧しています。ですからその辺のこともふまえて何か方策を考えるべきかなと思っております。ただ、乗継割引については、これを実施することで乗車率が上がることも考えられるので、場合によっては交付金の捻出が年々少なくなるのであれば、これも良い方策の一つと考えられると思っております。

部会長 他にございませんか。特に割引適用の範囲がナッキー号だけでいいのか、地域コミバス同士の乗継、三重交通と地域コミバスの乗継は割引しなくてもいいのか、などいろいろ考えることはあるかと思っております。配布場所は利便性を考えるとすべてのところで配布するのがいいと思っておりますが、運転手の負担等々もありますので、乗継できるところのみにするのか。すべてのバス停で配るのがいいのは、例えば降りた後に病院に行ってまた違うところに行ってから乗り継ぐという方もいらっしゃるのと、そういったところはどのようにするかなど考えられるパターンはあると思っておりますが、そのあたり皆さんからご意見をいただければと思っております。

委員 今の中平先生のご意見の中で、あれ？と思ったのが例えば朝あらざぎ号に乗って名張駅まで出てナッキー号に乗って薦原の友人に会うためコモコモ号に乗り換えました。帰りもコモコモ号に乗ってナッキー号、あらざぎ号で帰っていくというルートを通った時に、1つの目的を果たすために片道だけの乗継料金で考えるのか、乗り継ぐことを目的として自分が移動手

段を確保したということだから往復が乗継対象になるのか、その考え方はどうなんでしょうか。例えばお買い物のために移動するとか、事業推進部会でよく話していたのですが、それぞれの目的に応じたバスの出し方もありますよね、というような話もしていたのですが、今中平先生がおっしゃった中では目的を達成して帰ってくる时候にもそれを利用してもらうために乗継という考えを入れるのであれば、往復に適用されると。朝100円引きであららぎ号に乗って乗継券をもらえば、ナッキー号もコモコモ号もすべて乗り継ぎ、帰りのコモコモ号からナッキー号からあららぎ号に乗り継ぎということを考えたら、初回料金のみで乗継が完了するという考え方もできるのかなと思います。

部会長 いろんな考え方があると思います。乗り継いでもらっているところにも回遊してもらうことでまちの賑わいをつくるという考えもあります。そのあたりをどうするのかというのが、今は素案なので検討されていないと思いますが、いろんな考えをシミュレーションしないといけないと思います。運賃をどれだけ安くする場合に乗り継ぐ人はおおよそこういう移動をしているかは分かると思うので、そういったときにどれくらいの料金が必要なのか、人の移動はどうなるのかというのを簡単でもいいのでシミュレーションしておかないと、例えばうれしいことに乗り継ぐ人がすごく増えましたとなった時に、予算はどうするのかという話が出てきてしまいますし、他のコミュニティバスの収入減になってしまいますとそれも困ったことになるので、もっと煮詰めていったところでそういうことをしないといけないと思いますが、今のところはナッキー号だけでいいのかを考えなくてはいけないと思います。一回の支払で次々割引するというのもありなのかも当然検討すべきだと思いますので、そういうことを割引額含め検討していかなければならないと思います。運輸支局さん、何かいい事例などありますか。

オブザーバー 午前中に桑名の会議に行ってきたのですが、桑名でも乗継割引の検討の議題があり、コミバスからコミバスに乗り換えるときに100円割引にするというので今日承認がされました。一般的には乗継ですので往復で行って帰ってくる时候に使うというのは事例としてはあまりないのかなと思います。でもこの2回目以降も割引くというのは個人的にはありかなと思います。名古屋市交通局でのICでの割引では1回目しかできなくて2回目以降は元の金額に戻ってしまうのが、個人的にはなんでかなと思いますので、乗り継げば乗り継いだだけ割引してもらえるというのはバスの利用にもつながると思いますので、そういった部分では複数回の乗継も適用するというのはいい考え方だと思いますし、乗継の適用範囲についても、可能であればすべてのコミバスに適用されればいろんな利用があればここだけ割引があつてここはないというのでどちらかにとっては不公平な感じもありますので可能であれば全バスで適用された方が利用者としてはいいのかなと感じるところではあります。

事務局 今回資料1でご紹介させていただいている取組ですが、ご覧のとおりアナログ方式で券でやるようなやり方で、紹介させていただいております。三重交通さんがおっしゃったようにICカードを使いますと乗継の定義を明確に決めていけるとと思います。降りて何分以内に次のバスに乗るとか、そういうことで把握はできるのですが、この券見ていただくと日付も入っておりませんし、ある程度緩やかな運用をさせていただいています。そこで私どもが今考えているのが、言葉は乗継なんですけど厳密にこれが乗継という考え方ではなく、要はどのバスで

も1回乗っていただいたら次の100円クーポンがもらえるというイメージで考えております。そういう意味でも日付や何時間以内に乗り継がなければならないというイメージではなく、1つバスに乗れば次のバスに乗るとき100円分がもらえますよというイメージで展開させていただけたらと考えています。ただ、先ほどご心配いただきました、公共交通は安全性が1番大事でございます。そのことによって安全性が確保できない、ドライバーの方の負担が増える、そういったことがあってはいけませんので、運行业者の方々に対してこういったご協力をいただけるかどうか、その中で配布する場所を乗継の拠点だけにするのか、それともお客さんが声かけてくれたらその都度渡しますという運用をさせていただけるのかなど見極めさせていただいたうえで、できましたらまずナッキー号を基本に展開させていただき、社会実験的に始めて、それからすべてのバスに展開していくという段階的な取り組みでもいいかと思っています。まずは私どもだけで事業者さんとの協力体制にして、不正など想定外の使い方が起きてくるかもしれませんし、利用者の利便性を高めるという観点で進めたいと思っていますので、あまりガチガチにしたくないという思いもありながら、かといって皆さんからお預かりしている税金をもってこの公費を負担していくということになりますので、いい加減な予算の支出を問われるところもありますので、そのさじ加減についてもご検討いただければと思います。

部会長 ありがとうございます。あまりガチガチにしてしまうと、運転手さんの方で配布ができないところも出てきてしまうので、そのあたりは難しいところがあります。伊勢市さんの場合、実験運行中ですが少々、例えば駅のホームで2枚券を取って次乗るときにも使うというのいいじゃないかという考えです。ですので、鉄道との割引は止めちゃうことになると思いますが、とりあえず実験の段階ではどれくらいの利用者がいてどういった利用をされているのかを把握したうえで、配布式は止めましてIC化に向けて検討をされています。予算的に非常にかかるということで、名張市さんでは難しいかなと思いますが、ガチガチとしたシステムではなくできればたくさんの方に利用していただいて、三重交通さん、地域のコミバスの利用者が増えていただければいいのかなと思います。ただ予算の都合もあるので、どれくらいの範囲で増えてくるかということもありますが、割引分を市が負担するということで、それによってできれば利用者が増えてくるような総合的な効果で見ればいいと思います。とりあえず利用する人がいなければ負担金もないので、今のところ変わりはないかなと思います。

委員 案ということでずっとお聞きしていたのですが、三重交通さんがおっしゃっていましたように、すぐには難しいのかなと思います。ICカードは確か1時間くらい乗継であれば自然に月の引き落としのときに割引になると聞いていますので、三重交通さんの中では「乗継」という定義はあると思います。それと免許返納ですが、免許返納された方は半額になっており、付添の方も半額ということなので、私の考えとしてはこれでいいのかなと思います。免許返納をされるまでの方が割引で乗っていただきたいので、免許返納をされた方は、バスに乗っていただけるという考えで、半額になっているのかなと思います。乗車券は、近鉄さんともすぐには難しいのかなと思いますので、案ということで聞いておりますと、ナッキー号が循環型になっておりますので、基本はナッキー号が名張市の便利なところをぐるっと回っ

ている考え、東京で言えば山手線がまわっているイメージかと思います。病院など増やしていきたいということであればナッキー号のルートを考えていただいて、そこにいろんな地域からのバスからありますので、そちらで乗ってきていただいて、ナッキー号とどこかで集結していただいて、そこで割引券を交付するなどまずはそういう方向でも個人的にはいいのかなと思います。一度には少し難しいかなと思いました。山手線のルートを基本に考えていただいて、そこに皆さんが乗り継いで見えたら、それぞれのコミバスで割引券を渡していただいて、ナッキー号は100円で無料になり、それで片道が完了する。帰りについてはナッキー号で券をいただいたら、次のコミバスのところで割引になるといったもう少し狭い範囲からのスタートでもいいのかなと個人的には思います。

委員 先生がおっしゃったように、あんまり難しく考えるよりも、皆さん今日は車で来ていただいたと思いますが、車に乗れない方はいろいろ考えておられてあらゆるケースで乗りやすいかたちでやっていただくというのが、例えばほっとバス錦ですと名張駅で降りて市立病院に行く場合はナッキー号の100円分がいらなわけですので、逆に帰りも100円値引きしていただけるということですね。細かいことは伏せて少しでも多くの方に乗っていただいて、バスに乗る回数を増やしていただくというのが、公共交通機関の使命だと僕は思います。細かいことはいろいろあると思いますが、そういう可能性を我々が発信していくことが必要ではないかと思いますので、よろしくお願いします。

部会長 ありがとうございます。ただ、まだ素案の段階なので、今後は議論を詰めていきながら第2案第3案を出していきつつ検討したいと思いますので、とりあえず今日につきましてはこの乗継割引はここまでとさせていただきます、この後まだ2つの議事がありますので最後にまたご意見をお伺いいたしますので、もし何かございましたら、議事の最後にご発言いただければと思います。

(2) 平成30年度コミュニティバス事業評価について

(事務局と各コミュニティバス運営協議会より資料をもとに説明)

部会長 只今の説明について、次の議事でもありますように、上半期の状況報告も関連するところはあると思いますので、先に上半期の状況報告についてご説明いただき、議事2と3はまとめてご意見いただきたいと思います。

(3) 令和元年度上半期コミュニティバス運行状況報告及び評価について

(事務局と各コミュニティバス運営協議会より資料をもとに説明)

部会長 只今事業評価及び上半期の運行状況報告をしていただいたところですが、何かそれに関してご意見ご質問はございますか。

委員 基本的なことですが、運賃免除の方はどういう方がいますか。

事務局 コミュニティバスで運賃免除となっている方は基本的には障害にかかる手帳をお持ちの方です。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳といったものをお持ちの方が基本的に無料になっています。併せて介助する方も無料ということで取り扱いをさせていただいております。

委員 ありがとうございます。それとはたっこ号の話ですが、便数を増やしたり屋根付きのバス停を付けていただくということですが、時刻表はどの程度の回数配っていただいていますか。

委員 1年に2回ほど配っていると思います。

委員 よくなくされる方がいて、聞かれてコピーをあげたりしていますが、もう少し配布してくれると助かります。

委員 頑張ります。

部会長 その他ございませんか。

委員 うまくいかなくなりつつあるのが2, 3つあります。将来に向けて逃げるのではなく積極的に対応していかなければなりません。もちろん当然の対症療法も必要ですがそれもやりながら抜本的に改革する方法はないのかというのも視野に入れてやっていくというのもすごく大事なことかと思います。コミュニティ交通というのは無くてはならない部分で、名張管内でこれだけの人が利用しているわけですよ。少ないところもあれば多いところもありますが全体で見るとかなりの方が利用して、乗り慣れてくるとそれが当たり前になってるという方もたくさんおられるということを念頭に置いて、維持しつつ目の前のことを解決しながら次の時代を見ながら根幹にあるものを考えていかないと、どこかでやめたらおしまいではないかという話が出てくると思います。でもせっかく始めたことでそうなれば悲しいので、やはり続けていく方策を考えていく。将来はやはり定期的にバスを通すんだという強い意志を持ってやっていくべきかなと思います。

部会長 その他何かございますか。みどり号さんからご意見があったように、マックスバリュのあたりが栄えてきてそこにバスを乗り入れたいというのは当然気持ち的に良くわかるのですが、まちづくりの観点から言いますと、あんまり便利にしすぎてしまうと、逆に自らの地域にある商店などが衰退して結果的に無くなってしまおうという事例が都市部であり、それで本当にいいのかなというのは地域で考えてもらわないといけないのですが、僕の例で言いますと、僕は梅が丘に住んでいますが、近くに小さい商店があります。そこを利用する高齢者の方もいらっしゃいますし、当然僕らも時々利用するのですが、もっと便利になって皆さん例えばマックスバリュに買い物に行くようになったら、多分その商店はやっていけなくなって近くで買い物するところが無くなってしまおうんですね。それが本当にいいのか悪いのかは地域で当然考えておかなければいけないと思いますが、おそらくいいわけではないと思います。ちょっと何かを買いたいときに近くにあると便利で、これは高齢者の方だけではなくて、我々若い世代でも便利なことなので、そういった地域の商店を守っていくという視点が実は交通ばかり考えていると欠落する部分がありまして、そういったところも少し頭の隅に置いていただいて考えていただいたらいいのかなと思います。また、あららぎ号さんのところで再編した方がいいのではという意見があったと思いますが実はこれは僕の方から言わせていただきまして、見ていると路線がとて長く複雑だということがあったので、利用者がどんどん減ってきていて、来年度くらいで利用者がどうなのかといった判断が必要かと思いますが、効率が悪いかなというところがありましたので、別の輸送方法にした方が利便性も上がるし費用的にもそんなに高くないのかなと他の地域を見ていると感ずるところでしたので、そのあたり検討してもいいのかなと思っている次第です。それ以外も抜本的に考えていらっ

しゃるところもございましたので、そういった考えも大事だと思います。その他何かございますか。よろしいでしょうか。最後にその他について事務局から何かありますか。

(事務局より参考資料1, 2について説明)

部会長 ありがとうございます。最後に、議事が3つございましたが参考資料の中身についてでも結構なのですが、何かご意見ご質問、例えばこの議題に上がっていないような公共交通に関するご意見でもいいので、ご発言いただければと思います。

オブザーバー 十分調べていないのですが、俗に言う白タクの規制というのはまだ変わっていないのでしょうか。地域での検討課題として挙げていいのかどうか、ドアツードア型とまでいきませんが、ドアツードアまで走らせて、そこから先は予約制か何かでボランティアに近い値段でそこまで行ってもらおうというのを仮に有償ですとしたら、まだまだ法に引っかかるのでしょうか。

オブザーバー 現状はまだまだ自家用で有償でというのは違法になりますので…。

オブザーバー 例えば50円でも100円でもですか。

オブザーバー そうですね。ボランティアでガソリン代のみとなれば許可等を要しないものもありますが、基本的にはタクシー等がありますのでそういったかたちであればデマンドタクシーや乗合タクシーをまずは検討していただいて、それでもタクシー会社が対応できないという話になると次の段階へ自家用の活動などを入れてもらえると、と思いますのでまずは安全性の面からも公共交通事業者を活用する手法を検討していただければと思います。

オブザーバー これは道路運送法における許可または登録を必要としない運送の形態について検討されているみたいですね。

オブザーバー それはありますが、現状では許可登録を要しない形態での運送はありますので、そういったものに該当するものであれば、基本的にはボランティアであってガソリン代等のみいただくということであれば…。

オブザーバー 具体的にガソリン代というのは50円や100円と言っただけではいけないのでしょうか。

オブザーバー 謝意です。いわゆる行為に対する任意の謝礼です。

オブザーバー 1回いくらと決めているのはダメです。

委員 皆さんご存知だとは思いますが、バスと称してぐるぐる回っているのが1件ありました。結論から言いますと跡取りがいません。皆が怖がってドライバーにならないんです。事故を起こしたらどうするのか、一応何が起きても責任は取らないという念書は取っていますが、傷害や過失致死など刑事の部類になった時にだれが責任を取るのか、身内の人は必ず言います。うちの人が乗せてくれといっても断ってくれたらいいのに、普段からタクシー使っているとこのことと言ってしまうと思います。それが起こらないために美旗はそういうのはやりません。私が責任者ですので、私のもとで動いてくれる人については私に責任がありますので、それはできない、やめようと言っています。いわゆるデマンドに近いかたちというのは便利ですが、それはやはり福祉タクシーや普通のタクシーなどグリーンナンバーがついた車を使うべきだと思います。でないと、親切の押し売りというのがあります。こういうことを言っただけではいけません、現実問題としてリスクを見るとやはり難しいと思います。最後に、乗継の100円券の話ですが、利便性を考えて使い勝手がいいようにどんどん使ってもらって、何回乗り継いでもいいではないかという考え方と、もう1つは1回のみという考え方があるのもい

と思います。それも視野に入れておいてください。帰りのバスはまずはお金を払って、次乗り継ぐときに乗継券を使ってくださいと、1日で行き帰りのうち2回は全額払って残り2回は100円引きになるのも1つの方法だと思います。今後計画していくうちに視野に入れておかなければ、後始末の作業がすごく繁雑になっていって運行を委託している業者の負担になっていかないかというのも考えられます。その分の負担の額、事務料というのはどこからも出てきませんので、その手間も視野に入れて計画をしていただきたいと思います。1枚の券は1回その場でしか使えませんが、次が安くなりますという考えも持っておいてください。

部会長 ありがとうございます。その他何かございますか。

委員 以前菰野町の役場に行ったときに、役場がちょうどハブのバス停になっていました。菰野町役場に着くと次のバスがすぐ前に停まっています、乗継券をもらってたくさんの方が前のバスにバスのドアツードアのように乗り継いで行かれましたので、例えば市のハブが市役所なのかマックスバリュなどいくつか候補は出てくるかと思いますが、この機会に乗継がうまくできる方法で作っていただければと思います。先ほど地域のコミバスの方がうちはもうやっていけないのではないかとおっしゃっていましたが、この乗継をうまく利用することによって自分のところの地域の方だけではなく全然違う地域の方も乗っていただくとプラスに考えられるように、例えば各地域コミバスにキーポイントになるような商業施設などを持っていただければ、他の地域の方と共存できてプラスになっていけばいいのかなと思いました。

オガバー 私も賛成で、今おっしゃったようにバスだけと考えると絶対縮小されてしまう。今日も29、30年度の報告がありましたが、コミュニティバスだけで乗車数8万人いるわけです。例えばその8万人が商業施設に行けばチラシなどを打たなくてもいいので、マックスバリュの経費でバスターミナルを作ることができるかもしれません。その代わり各路線の客が全部寄ってきて集客能力も高まるということで市街地計画の中で市役所も1枚噛んで話ができる可能性はあります。ですが1路線ごとに考えていると今会長がおっしゃったように極端な話5年先にはコミバスはもうありません。ですから何か考えないといけないから、それはライドシェアがいいのかバスターミナルで相互に乗り入れて券を配布して例えばはたっこ号で来てナッキー号で市立病院に行けるという作りにしないとおそらく単発でバスに乗るだけでは広がっていかないのではという思いをいつも持って会議があるたびにこのように偉そうに言っていますが、本当にジョイントをどうするのかを考えないと一者で知恵を絞っていても限界は来ます。まして皆ボランティアなので疲れてきています。やっているのが若い人ではなく失礼ですが後期高齢者ばかりなので次を考えるのが嫌になってもういいかとなるのですが、乗ってくれているお客さんにこのバスなくさないでねと言われるともう1回初心に帰ってしないといけないという気持ちだけでやっています。だから、全体としてコミバスが運用できるように商業施設の問題やバスの在り方、補助金の問題などトータルで考えて今ナッキー号が走っている路線に問題が無いのか、見直すべきところが無いのか、中平先生が言っておられましたが、ドン・キホーテにナッキー号がまわっていますが、これをうまくタイアップすることによってうちのみどり号がドンキに回ってきたらその路線がいらなくなる

からその分を違うところにまわす。100円と120円の差異はありますが、それは乗継券で解消すればいいと思います。そうしたら次は桔梗が丘西もいわゆる買い物弱者になりつつありますよね。蔵持町里など旧村落はにっちもさっちもいかないです。そうなると全体の中でどう青写真をつくってやっていくかを考えないと個々の問題点をつぶしていくだけではおそらく5年経ったらコミバスが全部赤字でパンクするのではないかという懸念をいつも持っています。

委員 私は今73歳ですが、昭和20～30年くらいまでの生まれの人は免許返納を考える歳になっていて、人口もとても多いです。これからお年寄りがどんどん増えていくので、せっかくやりだした部分だから、やめたらおしまいなので、希望を持って後進に譲っていただけるような柱を今作っているというかたちですね。結局自分たちも世話になるので、今いくつかのコミバスが動いていて基幹になるナッキー号があるわけで、ナッキー号に対する考え方も変えたらどうかというご意見も正解かもしれません。それもたくさんある事案の1つとして忘れないようにして、今回は乗継割引ということで、多様に全部のところで使えるようにしようという考え方と、もう1つは1回きりですよという考え方もあると思います。それはなぜかという、事務が煩雑になることで、市役所はいいかもしれませんが我々全部自分たちで事務処理をするところは大変です。我々は総務課というのが無く賃金をもらっていないので。そういったことも現状ありますので、その辺もふまえてまず券のやり取りについては、入り口としては1回だけの乗継から入ってもいいかもしれませんが、どんどん乗継できるような考え方もあると思いますし、折衷案から始めてもいいかと思えます。乗継割引は便利なので乗客は増えると思います。何時のバスに乗って次はいつ乗り換えるかという乗り継ぐ時刻表なども作っていただくとより便利になるかと考えます。

委員 皆さん熱い議論をしていただいている中で市の立場で言うのもなんですが、市の方でもバスに乗ることの動機付けということで広報にも書いてありますが、ケンコーマイレージポイントのナッキー号乗車券への交換を実施していて、これは福祉の面から言えば、家に引きこもらず外へ出てその時の手段としてポイントを貯めて、それを何に還元するかということ「とれなば」の買い物券でもいいですし、ナッキー号のチケットにしてナッキー号に乗ってほしいというのを推進しています。こういったものがまだまだ利用されているかというのは私は所管外でわかりませんが、こういうかたちでも皆さんがお出かけされることで健康づくりにつながるという側面もあり、広報にもありますが、ご自身が体験されてバスに乗ったらこれだけ歩く時間もあってというバスそのものに乗ることも目的ですが、乗ったことによって次の行動をどうしていくかということも、ご自身の健康づくりの面でも役立っていくという部分での動機付けとしてナッキー号の乗車券への交換をケンコーマイレージの方でさせていただいているということだけ少しPRさせていただきたいなと思って意見言わせていただきました。

部会長 ありがとうございます。自由意見の中に三重交通さんの料金が高いなど書かれているものもありますが、三重交通さんのサービス水準を考えると決して高いわけではなく、皆さんのところは少し便数が少なくて安いですが、三重交通は便数が多いのでそれなりのサービス水準は保たれつつ運行されているので、これ以上水準を下げると今度は利便性が低下し

て利用者が減ることを懸念されてうまい具合に利用者を確保し、今までの経費の蓄積もあってその料金を設定されています。ただ、最近は減便傾向にあるのは運転手の確保や消費税引き上げによるところもあると思いますが、近鉄さんも同様で、どうしても利用者が減ってきたら便数を減らさざるを得なくなってくるところもあるので、できるだけ皆さん近くの三重交通あるいは近鉄、コミバス含めてたくさん利用していただければと思いますが、なかなか皆さん普段は車で移動されている中でバス電車を使うことはないかもしれませんが、僕自身仕事へはどうしても車で行ってしまおうのですがそれ以外の出張などはバスを使って近鉄にも乗り、少しどこかに行くときには学生を連れてバスに乗ったりしていますので、まずはこの会議の委員さんからどんどん使っていただいて、バス、近鉄、タクシーについても近所の方にご紹介いただけたらなと思います。なかなか皆さん知らなくて、うちの隣の方に広報を見られて、バスのことやっているのかという話になり、時刻がわからないから詳しく教えろと言われまして、いろいろ説明差し上げましたが、知らない方が本当に多いので、その辺も説明いただければいいかなと思いますので、広く皆さんで利用していただきたいと思います。他に何かございませんか。それでは、令和元年度の事業推進部会と連携協議会の合同会議をこの時間をもちまして終了させていただきます。皆さんご議論ありがとうございました。

事務局 ありがとうございます。先ほどご意見もいただきました資料3につきまして、協議会の所見については会長さんと事務局で相談させていただいたうえで記入させていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。